

ICT実践シート 中学部⑤

<p>観点 ※下表を参考に。複数丸が付く場合もあり。</p>	<p>コミュニケーション支援 ・ 活動支援 ・ 学習支援</p>
<p>目的（対象児童生徒の簡単な実態も含む／集団の場合は類型等を）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学部 II類型 9名を対象にした生活単元学習「Lets Enjoy English」 ・ 生徒のリスニングの力を高めること。主体的にタブレット型端末の活用に取り組むことをねらいとする。 ・ 英語の学習では、前期にリスニングや簡単な英会話、ゲームなどを通して英語の学習活動を楽しく取り組んできた。特にタブレット型端末の活用に関しては翻訳アプリで日本文から英文に翻訳できる方法を既習している。
<p>方法（実践した日時や期間も含む）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月24日（木）3校時 4時間目/6時間扱い（21日（月）～25日（金）） ・ Jay先生との自己紹介文を準備してきた生徒に対し、Jay先生が校舎内で迷子になっている設定とし、学習課題を「Jay先生を探せ！！」とした。3グループが体育館や陶芸室など校舎内の各場所に貼り付けたQRコードをタブレット型端末で読み取り、聞こえてくる英文を理解して次の場所へ移動する活動である。また、QRコードの下に書いてあるアルファベットの文字を jamboard で規定の枠内に入力することで、3グループで共有した画面から「Library」を気づき、Jay先生がその場にいと推理し見つけ出す学習活動を行った。 ・ 英語科の協力のもと、英文の音声データ(.wave)のQRコードを作成し、Classroomでファイル（音声データ）を聞き取れるようアクセス制限を掛けて、数台の生徒用タブレット型端末で読み取れるように準備した。
<p>成果（有効だった点／児童生徒の変容等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゲーム感覚で学習課題の解決に臨み、主体的に取り組む様子が見られた。 ・ 聞き取った英文からストマックの意味をGoogleで調べ、次の場所を保健室と推察、保健室の英単語の読みを再度Googleで調べてからQRコードの英文を聞き取り、確信して保健室に移動できた生徒もいた。自分の課題を解決するために既習した翻訳アプリやGoogle検索を用い、適切なアプリの選択ができた。
<p>課題・改善案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルの共有やQRコードの作成、配布に伴い、不特定のユーザーによるアクセス制限について十分に配慮しなくてはならないことが課題の一つと考えられた。 ・ 生徒が、主体的に学習活動に取り組めるよう、学習課題や学習活動について吟味し、より効果的なICT活用を意識した授業実践を積み重ねることが課題である。 ・ タブレット型端末での協働編集作業での学習活動など取り入れていきたい。
<p>その他</p>	

